2026 年度

研究分野	授業科目名	科目責任者
生理系分野	高次脳機能・病態運動生理学	平岡 崇

開講年次	共通／専攻／選択	単位数	
1～4	必須専攻	20	

目的

神経系・運動器系の疾患等による高次脳機能障害・運動機能障害分野から研究テーマを選択し、高度専門的な診断・評価・治療に関する新知見を探求するべく研究を進める。

授業到達目標

（1）神経心理学・神経筋生理学や運動病態生理学などの手法を用いて機能解析ができる。
（2）治療的側面への応用を検討し実施することができる。

授業計画

月日	曜日	時間	担当者	授業内容
毎週	水	15:00 - 16:00	平岡　崇	■神経心理学的検査・嚥下運動の解析方法とその臨床応用について ■上記解析手技の具体的指導および臨床応用に向けた実験計画立案/具体的手順について
毎週	金	15:00 - 17:00	平岡　崇	■神経心理学的検査・嚥下運動の解析方法とその臨床応用について ■上記解析手技の具体的指導および臨床応用に向けた実験計画立案/具体的手順について
毎週	火	15:00 - 16:00	目谷 浩通	■嚥下運動・呼吸運動の解析方法とその臨床応用について ■上記解析手技の具体的指導および臨床応用に向けた実験計画立案/具体的手順について

（1）研究の計画書を作成し、UMIN 登録を行ったのち、倫理審査委員会に申請する。
（2）倫理委員会の承認が得られた後、自己にて研究を遂行できる時間について計画し遂行する。
（3）その成果は適宜 指導教員に報告するとともに、定期的に開催される研究検討会で報告する。
（4）ほぼ完成した時点で中間発表にて発表する。
（5）追加実験を行い、論文を作成し投稿する。

評価方法

（1）１・２年次に中間発表へ出席する。
（2）２年次に中間発表で発表する。
（3）APRIN e-ラーニングプログラム（eAPRIN）の必須単元を受講する。[受講期間：１年次に受講。]
（4）１週間ごとに実験内容を履修手帳にまとめ、科目責任者の認定印をもらい、学期ごとに提出する。

課題（レポート等）に対するフィードバック

（1）定期的な実験内容報告に対し指導・助言を行う。
（2）中間発表の発表準備に対し指導・助言を行う。

教科書

ISBN-9784307750400, 神経筋疾患・脊髄損傷の呼吸リハビリテーションガイドライン, 日本リハビリテーション医学会（監修）, 金原出版, 2014
ISBN-4260117076, 神経心理学入門, 山鳥重著, 医学書院, 1985

参考書

ISBN-1560531096, Pulmonary rehabilitation : the obstructive and paralytic conditions, John R. Bach, Hanley & Belfus, Philadelphia, 1995

準備学習（予習・復習等）

（1）研究テーマについて、主要な論文/総説を通読し、その知見の概要を把握するとともに、現在のその分野の課題は何か考察しておく。
（基礎知識や語学能力により 5～10 時間程度）
（2）予習復習ともに標準的には 1 時間程度を費やすことが望ましい。

修了認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

当該分野において卓越した研究成果をあげ専門分野としての高い学識を獲得していると同時に、研究者としての高い倫理観を身につけていることにより修了認定・学位授与の基準を満たすものとする。

注意事項・メッセージ

（1）論文は英文誌への投稿を基準とする。（2）国際学会への発表を原則とする。